

◆品質革新賞 2021◆

大和リース（株） 生産・デポ推進部 デポ及び工場

大和リースは、1959年の創業以来「何をしたら儲かるか」ではなく、「何が世の中に必要とされ役に立つのか」という創業者の「公の精神」を継承し、時代の変化を見据えて社会課題を解決する商品やサービスを提供してきました。業界をリードするシステム建築や建物リースをはじめ、公民連携事業、商業施設の開発・運営、自動車・福祉分野のリース、立体駐車場、環境緑化、再生可能エネルギー事業など、多彩な事業領域を複合し、さまざまなパートナーと協働することで、新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現を目指しています。今回、品質革新賞を受賞したデポ・工場部門は、モノづくりを行う生産機能と、環境に配慮した建物リユースシステムを支える物流機能を有しており、システム建築の生産と建物リユース商品の整備・保管を行っています。また、デポ・工場部門は「協力会社体制」で運営しており、実際のモノづくりや整備、塗装といった業務は経営的に独立した協力会社（ビジネスパートナー）が担い、当社社員は主に経営管理の役割を担っています。

当社では、2016年から協力会社を主役にした人財育成・改善活動である「仕事の質改善」活動を推進してきました。これは「自社内での人財育成・事業継承が難しい」という協力会社経営者の経営課題に端を発しており、常に協力会社が主役となるように取り組んできました。また、活動の活性化を図るべく、各チームの活動を可視化・共有した結果、ライバル意識の芽生えから人財育成、品質・生産性向上といった効果だけでなく、DX推進や資格取得、社会貢献活動への参加などの副次効果も生まれ、部門全体の底上げを実現できました。その具体的な成果のひとつとして、中部・北陸地区を管轄する「三重デポ」の運営管理を協力会社のみで行う体制の構築が挙げられます。

「仕事の質改善」の最終的な目標は、活動成果を価値創造につなげ、「お客様に信頼と満足の頂ける商品・サービスを提供する」ことで顧客満足度を高めることです。その実現には、協力会社との共存共栄が必要不可欠です。これからも当社と協力会社が心をつなぎ、次なる高みを目指して、共に歩みを進めてまいります。

所在地：大阪府大阪市

受賞理由 テーマ：ビジネスパートナー（場内協力会社）とともに進める「仕事の質改善」

大和リース株式会社のデポ（物資補給基地）・工場部門（全国20拠点）では、約8割を占める協力会社の社員が、現場の作業を行っている。そこで、協力会社の社員の人財育成と改善活動を「仕事の質改善」と称して取り組み、品質意識の向上が図られた。法令に抵触することなく実現したことは、革新的な取り組みとして高く評価できる。また、現場の作業を協力会社に委託することが可能となるなど、その有効性も認められた。さらに、全国の主要なデポに展開できたことも確認できた。この仕組みの構築と効果的な実践は革新性、有効性、再現性を有しており、日本品質奨励賞 品質革新賞に値するものと評価した。